

RI 2013~2014 Theme

since 1996.2.14



御坊東ロータリークラブ



Club Weekly Britain

四つのテスト(Four way Test)

- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F
 事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市南350-28(御坊商工会館3F)
 連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234
 E-Mail gobo-c@gobo-rc.jp

会長 細川 幸三
 副会長 尾崎 達哉
 幹事 稲垣 崇

☆ 司会進行 SAA - 森本弘之 君

Celebration

【ご婦人お誕生日】

栗本信子さん



・雑賀洋子さん

・稲垣礼子さん

会長告知

会長 細川幸三 君

皆さん今晚は！ 小林さん！2度目の厚生労働大臣表彰おめでとうございます。

先週、日本海側各地では大雨による被害が多発しました。こう言った異常気象は、やはり地球温暖化がもたらしているのでしょうか？

いつ何処でどのような災害が起こるか解らない自然現象には人類の文明なんてちっぽけな存在だとつくづく感じます。

さて、ロータリーには特別月間と言うのがありまして、IRではロータリーの特定部門の奉仕活動を強調するために設けている月間を言います。RIはクラブとロータリアンが月間中の奉仕活動の重点を、その特定部門に置くことを要請しています。

今月、8月は会員増強及び拡大月間となっています。会員増強には、内部拡大と外部拡大の2つがあります。

内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。いわゆる、私達が日頃考えている会員増強です。

外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増や

す活動です。こちらは、クラブ数の増加です。

内部拡大は各クラブ単位での課題で、外部拡大は地区やIRの課題ではないでしょうか？

私達クラブも今後一層の内部拡大に努めたいと思います。以上で本日の告知を終わらせて頂きます

幹事報告

幹事 稲垣 崇 君

○事務局の夏期休暇 7月12日から7月16日迄です。

委員会報告

【親睦委員会】委員長 栗林久一 君

○例会終了後、親睦委員の方は残って下さい。移動例会の打合せをします。

本日のプログラム

「東日本大震災から復興の辺境 震災後の語られない話」 細川幸三 君

今回の視察で、副産物的にテレビや新聞では聞かないお話を耳にしました。

本来の目的は、宅建協会として、どのような対応をしたのか、また、今後どのような備えをしていくべきなのかを学びに行ってきました。

具体的には、津波により多くの人が家を失い、瞬間的には避難所に避難し、親戚や知人宅にお世話になる、仮設住宅が出来た後は仮設住宅に移る。と、イメージ的にはこのような流れが一般に認識されているところかと思えます。

もちろん、経済力のある人は自主再建で家を建て替えたり修理して生活を送っているわけですが、経済力の無い方は当然ながら今住むところが無いわけです避難所の体育館やコミュニティーセンター等に避難し、その後は、親戚や知人宅にお世話になる、仮設住宅が出来た後は仮設住宅に移るとイメージ的にはこのような流れが一般に認識されているところかと思えます。

勿論、経済力のある人は建て替えたり修理して生活を送っているわけですが、経済力の無い方は当然ながら今住むところが無いわけです避難所の体育館やコミュニティーセンター



では、いつまでも生活はできません。



私も、震災直後に避難所となっている学校の体育館に行ってきましたが、一週間も居れば限界だと思いました。面会した方は既に一ヶ月を超えていました。仮設住宅が出来上がるのには早くても一ヶ月ぐらいは掛かるわけです。そこで、緊急的にみなし仮設住宅を手配するわけですが、全国の宅建協会は県単位で、災害協定を県と提携しています。

その提携に則って民間の賃貸住宅(マンションや借家)を県が借上げて、被災者に仮設住宅として入居するのです。

実際これほど大規模な運用はされた事が有りませんので、県も協会も右応左応したそうです。結果、宮城県では約2万5千軒、岩手県では約5軒の民間賃貸住宅の手配ができ一応の成果は挙げたそうです。当初契約期間は2年で更に2年延長され現在も民間賃貸住宅に避難されている方が沢山おられます。詳しい数字は聞けなかったですが現在も相当数が契約延長されています。

そこで聞けた話が、人間のエゴや欲の部分のお話です。震災後2年以上が経過し、被災地=被災者が大勢いて皆さんで協力、助け合いと日本人はすばらしい民族的な賞賛の声がよく聞かれたのは皆様も御存知のところだと思います。もちろん総体的にはその通りだと思いますが、地域によっては、かなり違う方向へ話しが行き地域崩壊にもつながっているとお話します。

同じ地域で同じ生活水準をおくっていた人達が震災を堺に、一方は全てを失って仮設住宅暮らし、かたや震災前とさほど変わらない生活を送っている。この状況下では、大人同士は話も合わない、子供達まで仲が悪くなるそうです。

同じ地区、地域で実質的被害は停電、断水、電話不通、一方は家、家財、車等全てを失った、しかし義援金の分配は、方や50万、一方は100万でな具合で停電、断水で50万もらえるのであれば又、停電になり全てを失って100万と実情に合っていないような分配で地域崩壊につながっているそうです。

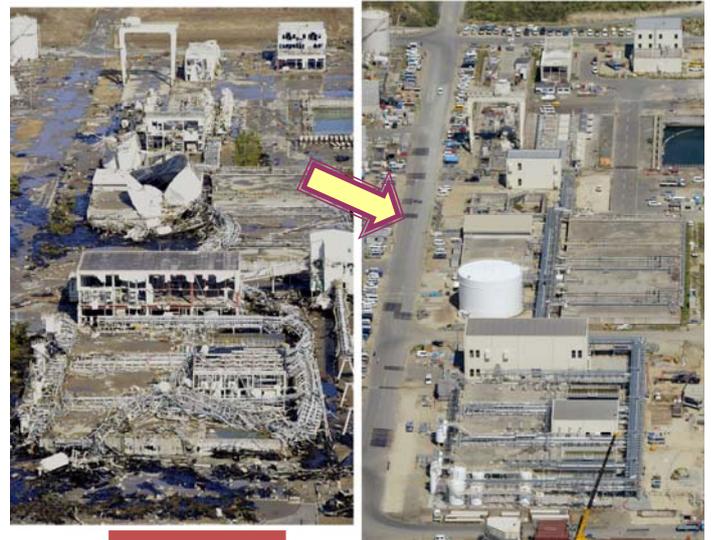
地震後に前から後ろから津波が襲ってきて自動車で逃げた人は助からなかったと言うお話は聞いた事があると思いますが、自動車にはねられて亡くなった人の話はあまり聞かないと思います。でも実際にはかなり沢山の人が自動車にはねられ、ひかれて亡くなっているそうです。

実際に見た人の談ですが、信号機も止まり渋滞の先頭付近の人は津波を目にして車を放置して逃げ出した、でもまじめな日本人は交通ルールを守りますから前の車が止まれば当然自分の車も止まり渋滞になるわけですが、ある段階で後続の誰かがこのまま止まっていたら津波に呑まれると思い反対車線を走りだします。当然反対車線には車は走っていません。それにつられて後続車も一斉に反対車線を走りだし、前の方で車を放置して徒歩で逃げている人をはねる、はねて道に倒れて人はその後続にひかれる、このような平常時であれば犯罪になるような事があちらこちらでおきて、多くの人が犠牲になったそうです。

津波が襲った後にはあらゆる所に水溜りが出来、その水溜りにお金が沢山浮いているそうです。岩手県の田老地域では

筆筒預金が多く、しかも平均預金高 6,000 万円(地元うわさ)もあると言われているそうです。その筆筒預金が 6,000 万もある地域を津波が遅い全てを流しましたから津波の後の水溜りは大変です。(100円束があちらこちらに浮いていたそうです。)

気仙沼では銀行の金庫から 4,000 万円が消え、対外的には津波で金庫が流された、金庫が壊れてお金が流された事になっていますが、地元の噂では行員が取ったのではないかとされています。何故なら、ある行員は高台に建物を新築したそうです。その人の言うには、同僚の経済状況はある程度わかっていたそうですが、以前の住宅ローン残債もあるはずなのに、どうしてあの人が高台に土地を購入し、新築の家を購入できるのか・・・と言った具合です。



災害直後

復旧後

津波により多くの人が亡くなり、あの状況下で2.3日或いは、もっと放置された遺体があったそうです。その遺体から時計や指輪、ネックレス等を取ったと言う訳です。

そう言う話は、外国人グループが震災後に被災地に乗り込んで来て、金庫を壊してお金を取ったとか、遺体から貴金属を取ったとか！日本人はそう言う事はしないだろうと思っていましたが、地元の人に言わせると、震災後 1.2 日程度で道路も寸断されたあの状況下で外部から来るのは不可能だったそうですし、外国人も見かけなかったそうです。

しかし、いずれにしろ証拠はありませんので噂の域はできませんが、今ではそのような話しが、よそ者である私達の耳にも聞こえてくるような状況になっている事は確かです。

ニコニコ箱

SAA 森本弘之 君

◇小林隆弘 君(過分に) 2度目の厚生労働大臣賞を受賞しました。

◇細川幸三 君 小林さん2度目の厚生労働大臣賞おめでとうございます。

◇小池佳史 君 青森ねぶた祭り、秋田竿燈祭り、仙台たなばた祭りに行ってきました。⇒ 様子は後日ご紹介いたします。

出席報告

出席委員会 雑賀鈴夫 君

会員数	欠席者	出席者	免除会員	出席率
14名	2名	12名	0	85.7%
6月10日 の修正出席率			78.6%	⇒ 85.7%